

公益財団法人ちばのWA地域づくり基金

2018年度事業計画書

(2018年4月1日～2019年3月31日)

2018年度事業方針と概要

設立から5年間、多様な寄付の受け入れプログラム、助成プログラムを整備してまいりました。しかし2017年度は寄付受け入れが計画通りいかず、財政的に厳しい年となりました。改めて当財団の強みは何か、地域に果たす役割は何か、目指す地域とはどのような状態なのかを内省し、財団の価値を継続して見出していく必要性を実感した年となりました。

2018年度は「市民が市民を支える地域資源循環の仕組みをつくる」という原点に立ち返り、財団の基盤づくりを最優先していきます。

地域を知り、地域のニーズにこたえるべく情報収集・提供の体制を整え、助成事業の質を高めることでコミュニティ財団が地域にある意義、価値を実感できるように取り組んでいきます。

重点テーマ

○情報収集の強化

「つなぐ」機能を強化するために、地域課題や市民公益活動団体、先行事例、助成プログラム、補助金・協働事業制度、マルチステークホルダー等の情報を積極的に収集し、提供をします。

○寄付受け入れ体制の強化

個人や企業の思いを具現化する冠基金の受け入れを積極的に行うと同時に、マルチステークホルダーの提案による基金の設置と寄付受け入れを進めます。

○助成事業の質の向上

プログラムオフィサーの育成を行い、助成を通じて地域課題解決や価値創造をデザインする質の高い助成事業を実施します。

特に、地域課題解決と持続可能性を目的とするマルチステークホルダーによる取り組みへの支援、先駆的な取り組みへの支援を実施していきます。

1. 公益活動支援助成事業（公益目的事業）

（1）公益活動を行う団体に仲介・提供するために、必要な資金等の資源を募り、確保する事業

ア. 「事業」への寄付募集

市民公益活動団体からの事業計画を公開し、寄付を募る。

- ・事業指定プログラム：2事業を想定

イ. 「テーマ」への寄付募集

- ・子どもの今と未来を支える基金
- ・ちばの課題深掘りファンド
- ・（仮称）地域づくり基金
- ・マルチステークホルダーによる提案で基金を設置し、寄付を募る

ウ. 冠基金

- ・個人や企業の寄付による基金を設置する。

エ. 法人運営への寄付募集

- ・ちばのWAサポーター

（2）公益活動を行う団体に対し、助成、顕彰等を行う事業

ア. 事業指定プログラム

市民公益活動団体からの事業計画を公開し、資金を仲介する。

- ・事業指定プログラム：2事業を想定

イ. テーマ型基金

- ・子どもの今と未来を支える基金
- ・ちばの課題深掘りファンド
- ・（仮称）地域づくり基金
- ・マルチステークホルダーによる提案型基金 等

ウ. 冠ファンド

- ・個人や企業の寄付による基金を設置し、公募から助成までを行う。
- ・さくら基金 等

（3）公益活動を支援するために、不動産等の資源を活用する事業

ア. 遺贈寄付による不動産等の活用

（4）前各号に掲げるもののほか、公益活動を行う団体に対し、その経営に必要な資源を提供する事業

ア. セミナーの開催：資金調達セミナー、遺贈寄付セミナー、ソーシャルビジネスセミナー等

（5）公益活動を行う団体及び資源提供者に対するコンサルティング事業

ア. 市民公益活動団体の資金調達や事業化に関するコンサルティングの実施

イ. 「ちばソーシャルビジネス支援ネットワーク」「一般社団法人全国コミュニティ財団協会」「一般社団法人全国レガシーギフト協会」との連携

（6）公益活動に係る調査研究、情報収集及び情報発信に関する事業

- ア. 地域課題、市民公益活動団体についての情報収集と発信
- イ. 先行事例、モデル事業についての情報収集と発信
- ウ. 補助金・助成金情報の収集と発信
- エ. ウェブサイト、SNS の運営
- オ. 年次報告書、寄付募集カタログ、チラシ等の発行

(7) 公益活動を推進するための普及・啓発物品、寄附金付物品及び出版物等の販売

- ア. 寄付付き自動販売機の設置
- イ. 寄付付き商品の開発・販売
- ウ. 多様な寄付の機会の提供（使用済みインクカートリッジ、リサイクル品）
- エ. 全国で取り組む「寄付月間」（毎年 12 月）に合わせたチャリティイベントの実施

(8) 前各号に掲げる事業のほか、社会を構成する多様な主体が公益活動を支え、担う仕組みの検討及び実施に係る事業

- ア. 助成事業報告会、交流会の開催
- イ. コレクティブインパクトモデル事業の実施

(9) その他前条（定款第 3 条）の目的を達成するために必要な事業

- ア. プログラムオフィサーの育成
- イ. ボランティア・インターンシップ生・研修等の受け入れ
- ウ. ヒアリング・取材対応
- エ. 講師派遣
- オ. 寄付者情報のデータベース管理と活用
- カ. 審査等業務受託

2. 法人運営（管理）事業

(1) 理事会の開催

- ア. 定例理事会年 4 回（5 月、9 月、12 月、3 月）
- イ. 必要に応じて臨時理事会の開催
- ウ. 中期事業計画の策定

(2) 評議員会の開催

- ア. 定時評議員会年 1 回（6 月）
- イ. 必要に応じて臨時評議員会の開催

(3) 業務管理

- ア. 事業計画に基づく適切な管理運営を行う。
- イ. 労務、財務管理体制整備と各種規程の策定
- ウ. 業務の効率化を図るため事務局のルールづくり、体制整備を行う。